

文法(文の組み立て)

《文節相互の関係》

① 主語・述語：主「は、が」がメイン、述文末にある

例 象は鼻が長い。
主 述 対応

※述語に対応するものが主語！

② 修飾語(被修飾語)：詳しくする語、される語
↓
される

例 美しい花。
修 被 詳しくする

③ 接続の関係：文と文、文節と文節をつなぐ

例 今日は寒い。だから、コートを着た。

今日は寒いので、コートを着た。

④ 補助の関係：元々の意味が薄れて、上の言葉を補助

意味を付け加える

例 つばを壊してしま^補う。

(元々は「片付ける」の意味)

※覚えておきたい三つのパターン

動詞+て^補+動詞^補

形容詞or形容動詞+ない^補

「〜である」の形^補